

氏名	鈴木 幸子	部署	看護学科	職名	学科長・教授
研究分野	母性看護学・助産学				
学位	博士(看護学)				
学歴	1998年千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程修了				
経歴	1981年東京都立築地産院助産師、2000年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教授、2005年同教授				
所属学会(役職)	一般社団法人日本母性看護学会(理事長)、公益社団法人日本母性衛生学会(理事)、一般社団法人日本思春期学会(理事)、一般社団法人日本看護学教育学会(評議員)、公益社団法人日本看護科学学会(代議員)				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	助産師基礎教育テキスト2019年版 第2巻女性の健康とケア 第2章 生涯における女性のケア2.思春期女性のケア	共著	日本看護協会出版会、p328、担当部分p54-65	鈴木幸子他14名、吉沢豊予子編	2019.2
2	DVD分娩介助トレーニングに使える胎児心音付きCTG波形	共著	メディカ出版、2枚組	鈴木幸子、石井邦子監修	2019.3
3					
(2) 論文					
1	妊産婦の死に関わった看護職者の体験	共著	母性衛生,59(4),703-711	○岩下収美, 大月恵理子, 鈴木幸子	2019.1
2	分娩介助実習前の学生の気づきを促すための模擬産婦に対するフィードバック研修の試み	共著	保健医療福祉科学,8,75-82.	○森美紀,鈴木幸子,石井邦子,青柳優子,山本英子,北川良子,川城由紀子,東原亜希子,植竹貴子	2019.3
3	助産師の地域連携への困難感尺度の開発	共著	日本母性看護学会誌,19(1),73-82	○三浦舞依,鈴木幸子,関美雪	2019.3
4	生後3~4か月の第1子をもつ父親の字の出生後からの体験-父親の抑うつ状態に焦点をあてて	共著	日本母性看護学会誌,19(1),73-82	○櫻沢亜希子,大月恵理子,鈴木幸子	2019.3
(3) 学会発表					
1	産後の養育について特に支援が必要な妊産婦を対象とした助産師の地域連携への困難感尺度	共著	第20回日本母性看護学会,越谷市	○三浦真依,鈴木幸子,関美雪	2018.6
2	ラオスの産後における伝統的プラクティスに対する日本の産科医療施設の対応	共著	第20回日本母性看護学会,越谷市	○齋藤恵子, 鈴木幸子,	2018.6
3	分娩介助演習における模擬産婦による双方向性フィードバックが学生の気づきを促す効果	共著	第20回日本母性看護学会,越谷市	○森美紀, 鈴木幸子,石井邦子,青柳優子,山本英子,北川良子,川城由紀子,東原亜希子,植竹貴子,妻倉恵	2018.6
4	Difficulty and influence factors of community cooperation by midwives - a focusing on expectant and postpartum mothers in special care needs -	共著	The 5th China Japan Korea Nursing Conference (Tokyo,Japan)	○Mai Miura, Sachiko Suzuki, Miyuki Seki	2018.9
5	子宮頸がん検診受診率向上を目指した看護職対象のスマアティカー養成プログラムの開発の意義	共著	第70回北海道公衆衛生学会,札幌市	○Hanley Sharon J.B, 工藤 里香, 鈴木 幸子,他6名	2018.10

(4)その他				
1	該当なし			
2				
3				
2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	効果的な分娩介助演習のための模擬産婦のフィードバックに関する能力開発と評価、研究代表者	2016.4～2019.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的研究 萌芽)	子宮頸がん検診受診率向上を目指した看護職対象のスメアテイクナー養成プログラムの開発、研究分担者	2017.4～2020.3	
3				
3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1)講義				
1	学部:母性看護学Ⅰ	2018.10～2019.3	科目責任者。母性看護学の役割と対象について。WEBによる小テスト自己学習を課した。	
2	学部 :母性看護学Ⅱ	2018.10～2019.3	性の健康支援に関わる看護活動について。	
3	学部 :ヒューマンケア論	2018.4	生をみつめるー女性の産まない権利について	
4	学部 :周産期のケア	2018.10	助産の変遷と現在の助産師業務	
5	博士前期:リプロダクティブ・ヘルス論	2018.4～2018.7	科目責任者	
6	博士前期:看護理論	2018.7	ヘルスプロモーションの理論	
	博士後期:次世代育成論	2018.4～2018.9	科目責任者	
(2)演習				
1	学部 :看護学入門	2017.4～2017.7	科目責任者。看護職の解説、学生のディベートの指導	
2	学部 :母性看護学Ⅲ	2017.12	産褥期の避妊カウンセリング	
3	学部 :分娩期のケア	2017.8	出産場面の模擬産婦によるシミュレーション演習と実技評価	
4	博士前期:リプロダクティブ・ヘルス論演習	2017.10～2018.3	科目責任者	
(3)実習				
1	学部 :総合実習	2018.4～2018.7	科目責任者。助産所実習の調整担当	
2	学部 :母性看護学実習	2018.5～2018.6	性と生殖の健康に関する支援の見学実習のカンファレンス	
3	学部 :助産学実習Ⅰ	2018.5～2018.6	科目責任者。地域における女性と母子の健康問題と支援	
4	学部 :助産学実習Ⅱ	2018.8～2018.11	科目責任者。実習施設との意見交換会により課題を共有している。	
5	学部 :ヒューマンケア体験実習	2018.9	統括科目責任者。	
(4)論文指導				
1	学部卒業研究	2018.4～2019.3	主指導2名	
2	博士前期課程	2018.4～2019.3	主指導1名 副指導2名	
3	博士後期課程	2018.4～2019.3	主指導1名 副指導2名	
(5)その他				
1	助産概論(千葉大学看護学部)	2018.6	思春期の健康問題と看護	
2	母性看護学概論(千葉大学看護学部)	2018.10	セクシュアリティと看護	
3				
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	性教育講演会	埼玉県立越生高等学校	避妊と性感染症予防	2018.7
2	性教育講演会	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園	避妊と性感染症予防	2019.3
3	性教育講演会	埼玉県特別支援学校大宮ろう学園	避妊と性感染症予防	2019.3

(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	公益社団法人ガールスカウト日本連盟	評議員	2017.4～現在
2	埼玉県男女共同参画推進センター利用者懇談会	会長	2017.4～現在
3	埼玉県助産師出向支援導入事業協議会	委員	2017.4～現在
4	彩の国思春期研究会東部支部	会長	2017.4～現在
5	公益社団法人日本看護科学学会	和文誌専任査読委員	2017.4～現在
6	一般社団法人日本母性看護	専任査読委員	2017.4～現在
7	一般社団法人性と健康を考える女性専門家の会	理事	2017.4～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	学科長		
2	大学運営連絡会 委員		
3	教育研究審議会 委員		
4	人事委員会 委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		